

平成29年度

歯及び口腔の健康づくりに関する報告書

栃木県

歯及び口腔の健康づくりに関する報告について

栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例（平成 22 年栃木県条例第 50 号）第 10 条の規定により、歯及び口腔の健康づくりに関する報告書を提出します。

平成29年9月20日

栃木県知事 福田 富一

目 次

I	はじめに	p. 1
II	県民の歯及び口腔の健康の状況	
	1 1歳6か月児	p. 1
	2 3歳児	p. 5
	3 園児・児童・生徒	p. 9
	4 成人・高齢者	p. 14
III	平成28年度歯科保健医療対策体系	p. 17
IV	平成28年度に講じた施策	
	1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	p. 18
	2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	p. 21
	3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	p. 22
	4 歯科保健医療提供体制の整備	p. 25
V	平成29年度に講じる施策	p. 29
VI	資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成28年度）	p. 30
VII	資料：県内市町における歯科保健条例制定及び計画策定状況について	p. 31

I はじめに

この報告書は、「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」（以下、「条例」という。）第10条の規定により、歯及び口腔の健康の状況並びに県が歯及び口腔の健康づくりの推進に関して平成28年度に講じた施策及び平成29年度に講じる施策について、県議会に報告し、県民に公表するものです。

II 県民の歯及び口腔の健康の状況

各ライフステージ（1歳6か月児・3歳児・園児・児童・生徒・成人・高齢者）の県民の歯や口腔の健康の状況については次のとおりです。

1 1歳6か月児の状況

市町が母子保健法（昭和40年法律第141号）第12条に基づき実施した満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成27年度における県内全域の対象者数は15,514人であり、うち健康診査の受診者数は15,026人でした。受診者のうち、むし歯がある1歳6か月児は230人でした（表1）。

表1 1歳6か月児健康診査受診状況（平成27年度）

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	むし歯 有病率 (%)	むし歯の 総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,725	4,602	97.4	4,540	62	1.35	171	0.04
県西地域	1,212	1,161	95.8	1,140	21	1.81	49	0.04
県東地域	1,113	1,082	97.2	1,069	13	1.20	39	0.04
県南地域	3,819	3,693	96.7	3,638	55	1.49	128	0.03
県北地域	2,765	2,670	96.6	2,632	38	1.42	113	0.04
安足地域	1,880	1,818	96.7	1,777	41	2.26	114	0.06
県合計	15,514	15,026	96.9	14,796	230	1.53	614	0.04

(厚生労働省「平成27年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

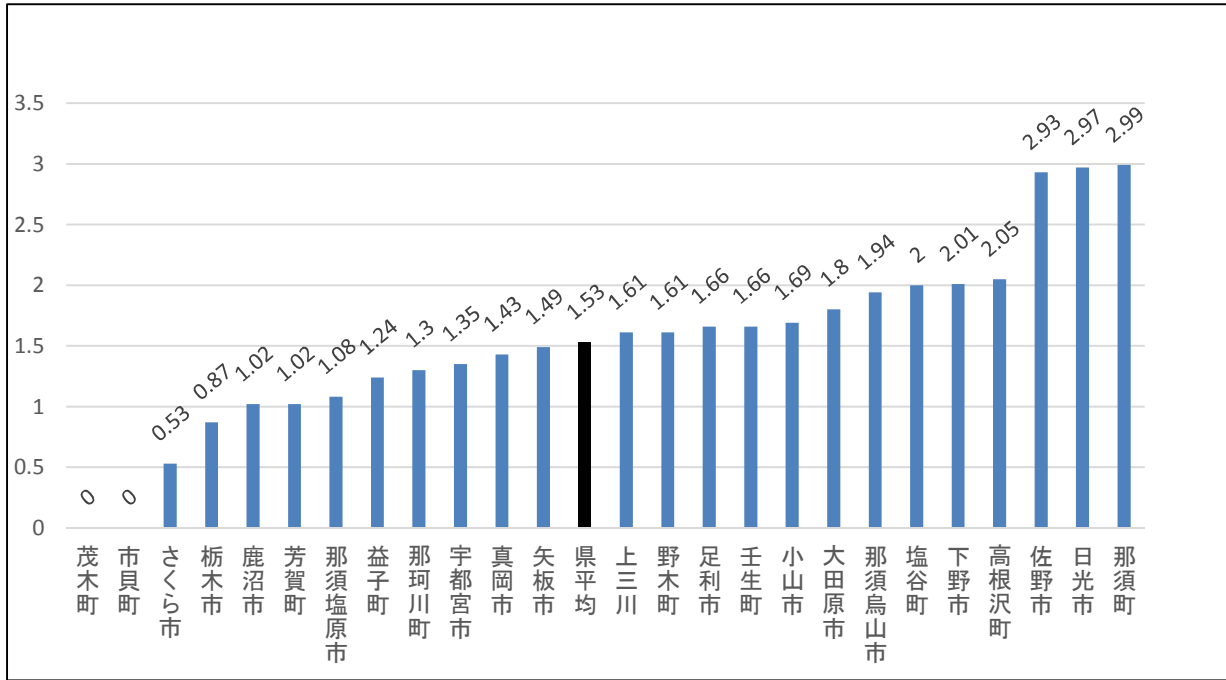
(2) むし歯有病率

平成 27 年度におけるむし歯有病率は県平均が 1.53%であり、最も高かったのは那須町で 2.99%、最も低かったのは茂木町、市貝町で 0%でした (図 1)。

本県の有病率は平成 24 年度までは全国平均を上回っていましたが、平成 25 年度以降は下回っています (図 3)。

図 1 県内における1歳6か月児のむし歯有病率 (平成 27 年度)

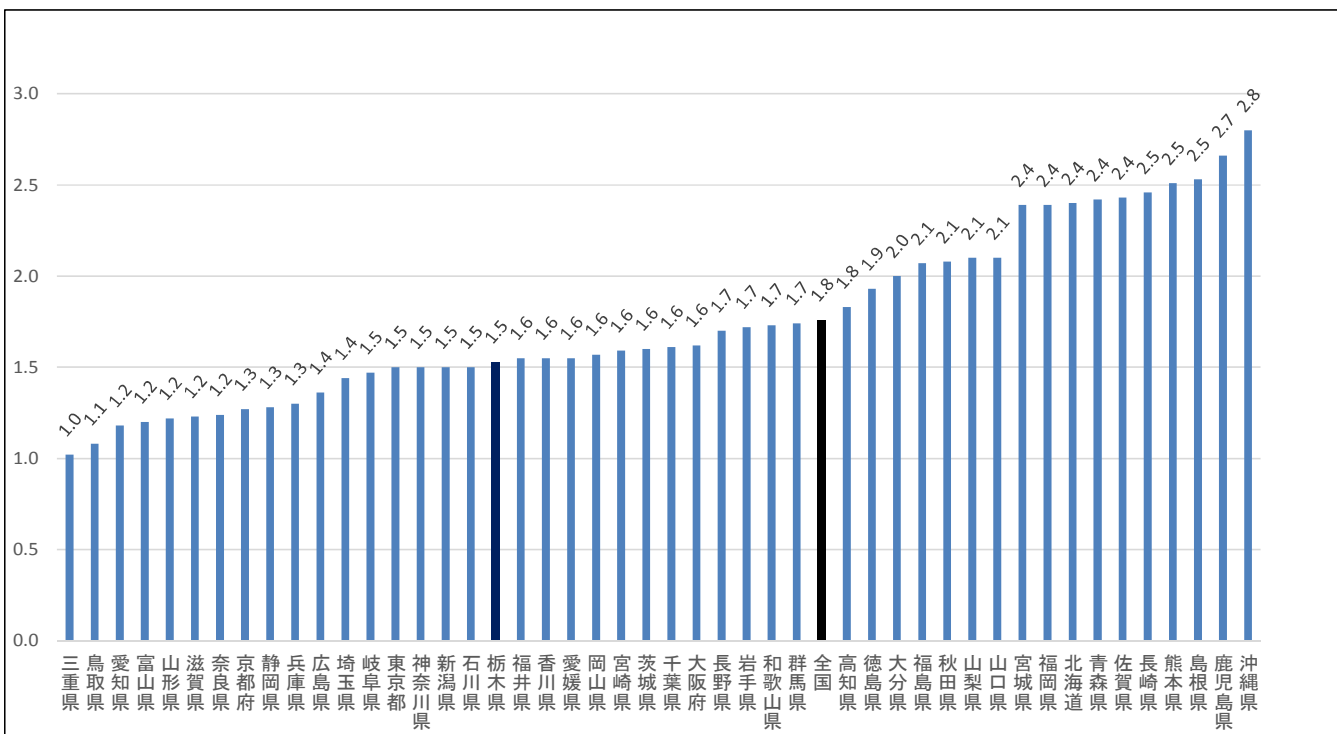
(%)



(厚生労働省「平成 27 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(%)

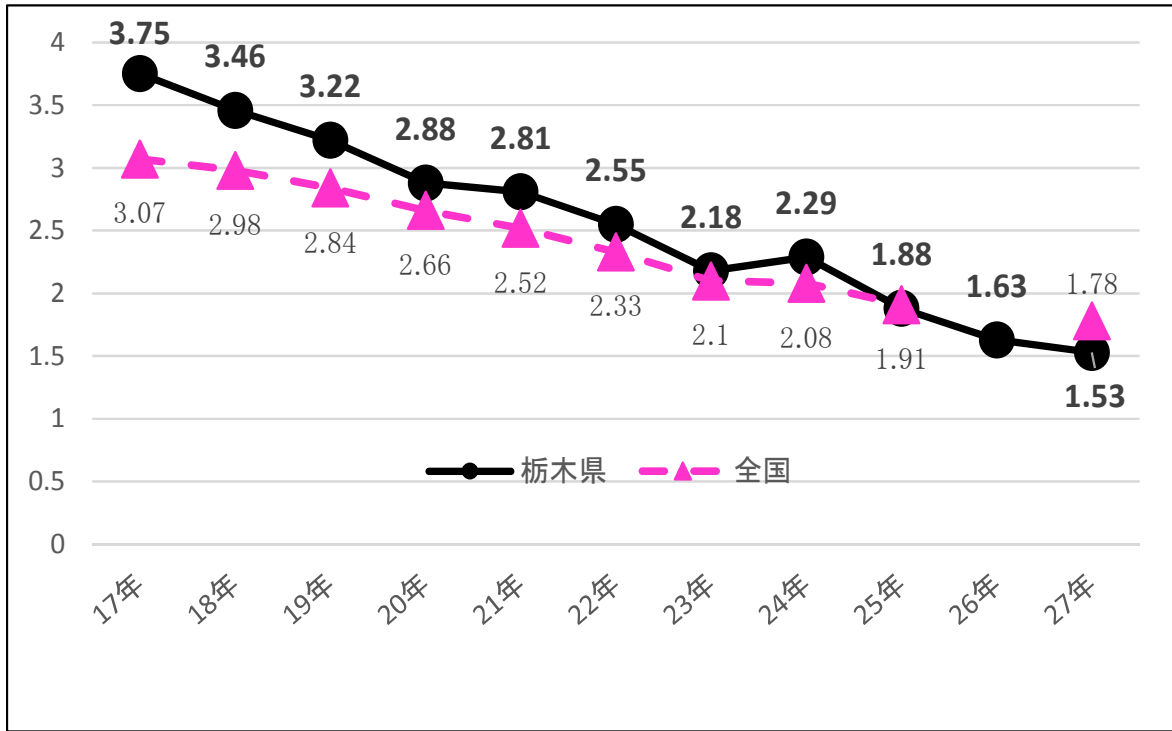
図 2 都道府県別 1 歳 6 か月児のむし歯有病率 (平成 27 年度)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図3 1歳6か月児におけるむし歯有病率の推移

(%)



(厚生労働省「平成27年度 地域保健・健康増進事業報告」)

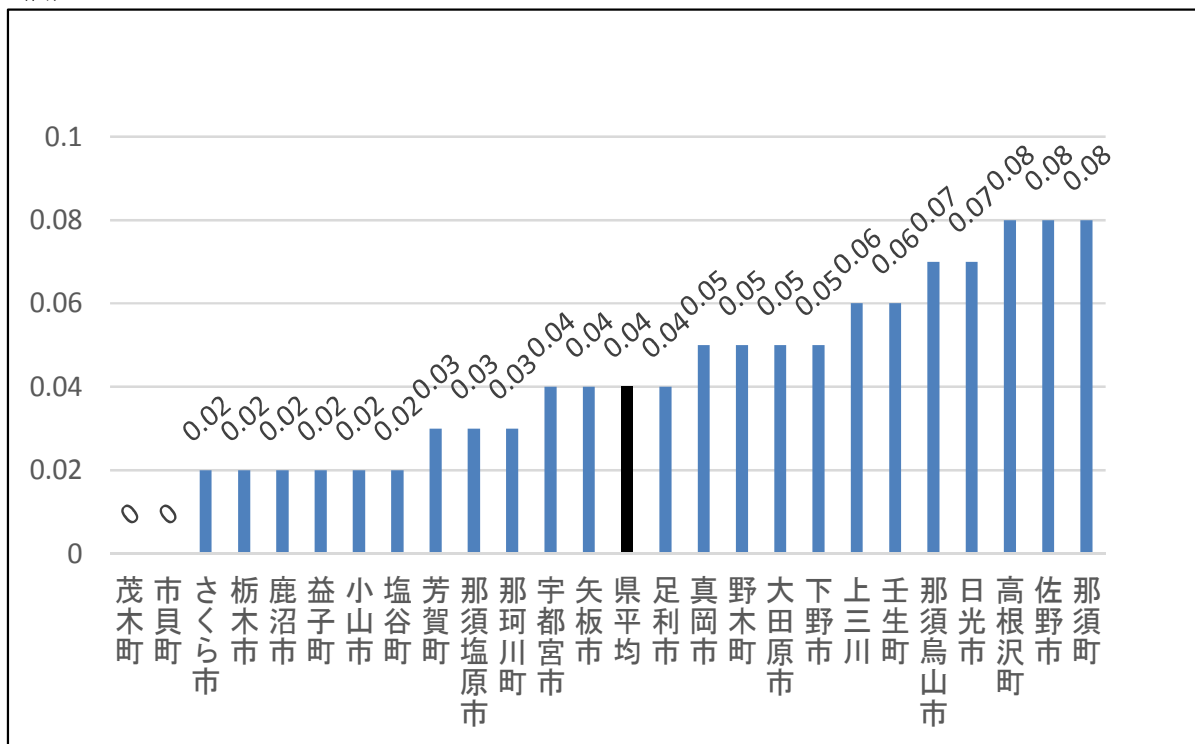
※平成26年は厚生労働省において未公表のため掲載していない。

(3) 一人平均むし歯数

平成 27 年度における一人平均むし歯数は県平均が 0.04 歯であり、最も多かったのは佐野市、那須町で 0.08 歯、最も少なかったのは茂木町、市貝町で 0 歯でした (図 4)。

図 4 県内における1歳6か月児における一人平均むし歯数 (平成 27 年度)

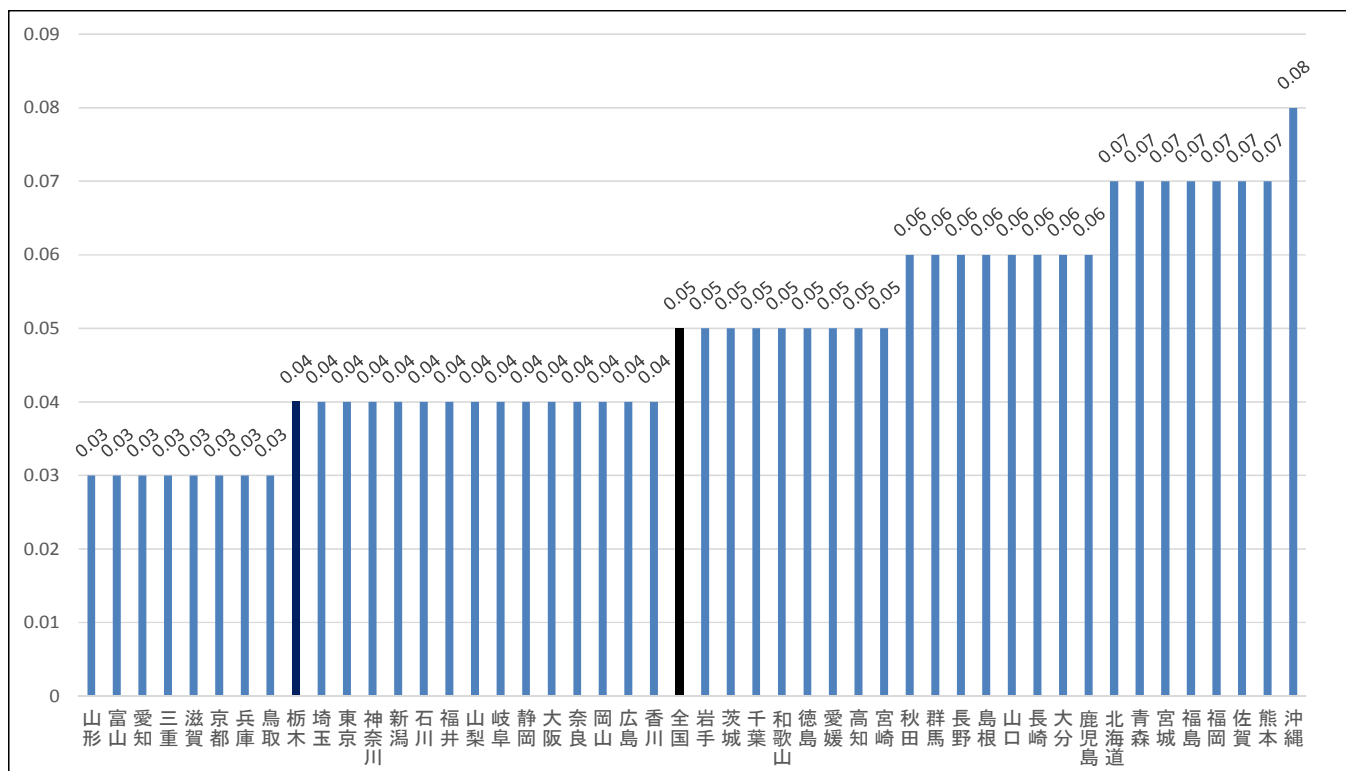
(歯)



(厚生労働省「平成 27 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(歯)

図5 都道府県別1歳6か月児の一人平均むし歯数 (平成 27 年度)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

2 3歳児の状況

市町が母子保健法第12条に基づき実施した満3歳を超え満4歳に達しない幼児の健康診査の結果は次のとおりです。

(1) 健康診査の受診状況

平成27年度における県内全域の対象者数は15,991人であり、うち健康診査の受診者数は15,334人でした。受診者のうち、むし歯がある3歳児は2,610人でした(表2)。

表2 3歳児健康診査受診状況(平成27年度)

地域	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯のない者 (人)	むし歯のある者 (人)	むし歯有病率 (%)	むし歯の総数 (歯)	一人平均 むし歯数 (歯)
宇都宮市	4,782	4,518	94.5	3,906	612	13.55	1,900	0.42
県西地域	1,281	1,226	95.7	998	228	18.60	794	0.65
県東地域	1,247	1,215	97.4	994	221	18.19	759	0.62
県南地域	3,943	3,786	96.0	3,122	664	17.54	2,358	0.62
県北地域	2,759	2,676	97.0	2,187	489	18.27	1,855	0.69
安足地域	1,979	1,913	96.7	1,517	396	20.70	1,538	0.80
県合計	15,991	15,334	95.9	12,724	2,610	17.02	9,204	0.60

(厚生労働省「平成27年度 地域保健・健康増進事業報告」)

※ 地域別の構成市町

○県西地域：鹿沼市、日光市

○県東地域：真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町

○県南地域：栃木市、小山市、下野市、上三川町、壬生町、野木町

○県北地域：大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町

○安足地域：足利市、佐野市

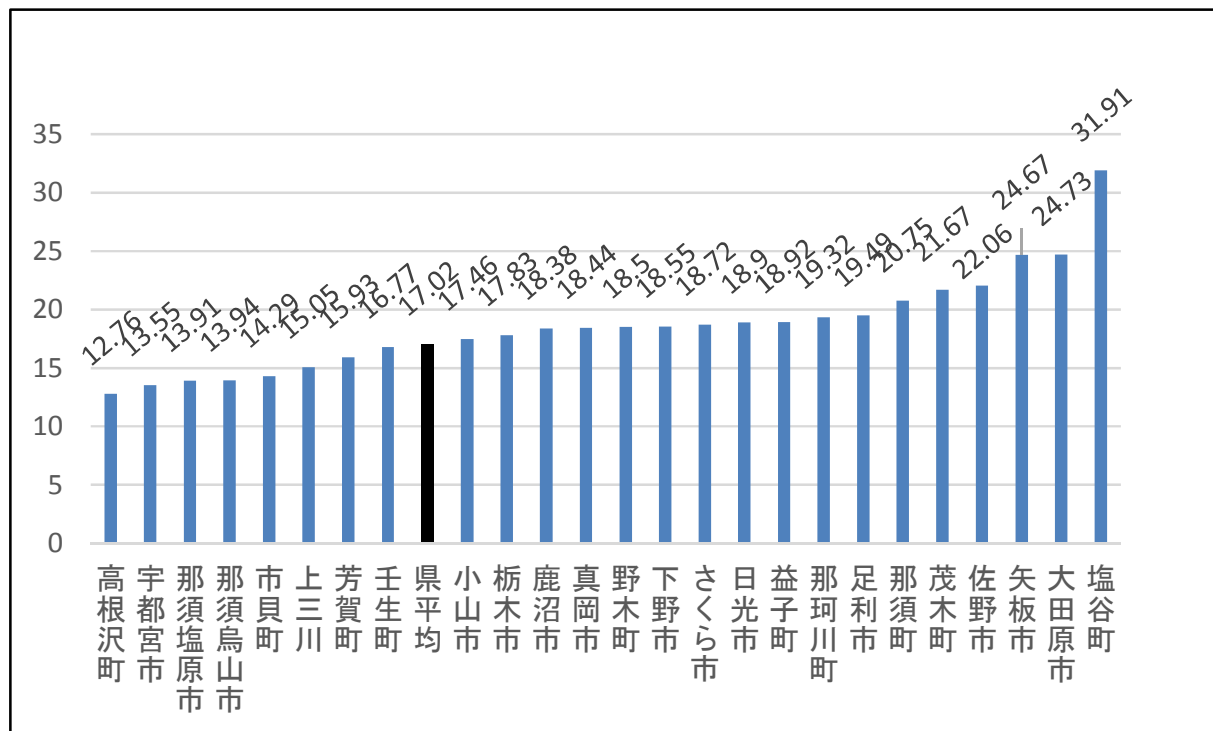
(2) むし歯有病率

平成 27 年度におけるむし歯有病率は県平均が 17.02%であり、最も高かったのは塩谷町で 31.91%、最も低かったのは高根沢町で 12.76%でした (図 6)。

本県の有病率は年々減少しており、平成 25 年度に「栃木県歯科保健基本計画」の目標値である 20%以下を達成し、全国平均よりも良い状態が続いています (図 8)。

図 6 県内における 3 歳月児のむし歯有病率 (平成 27 年度)

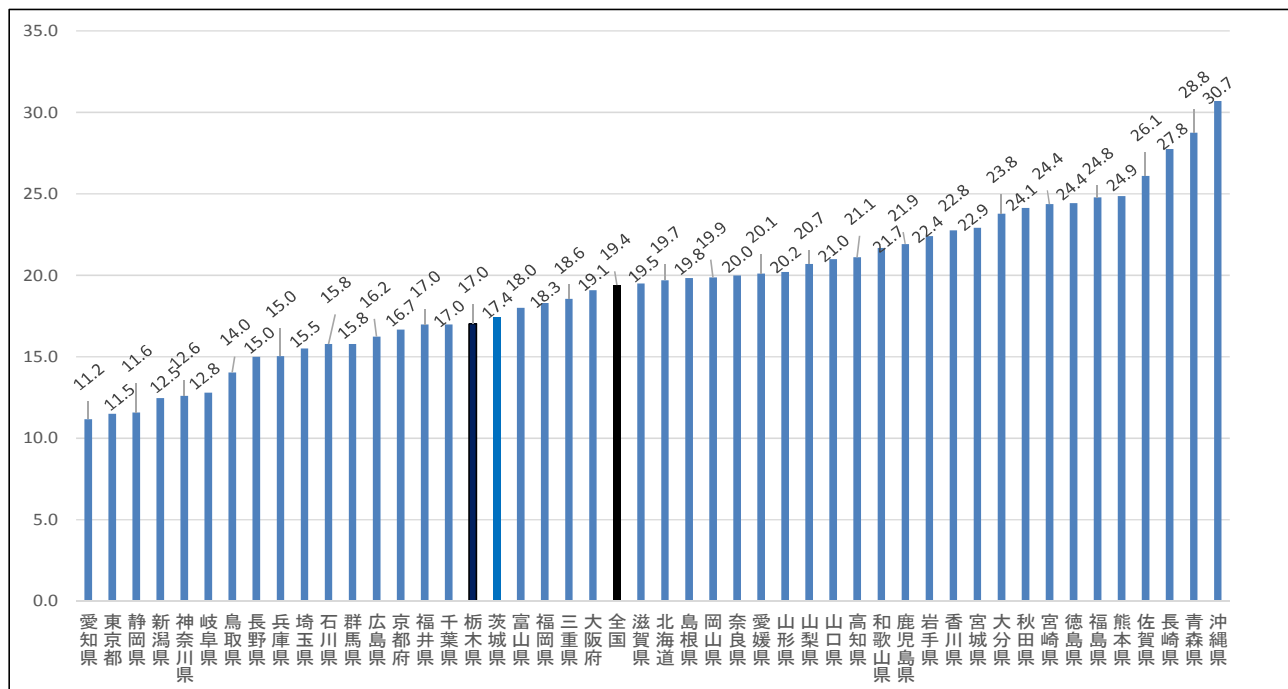
(%)



(厚生労働省「平成 27 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

(%)

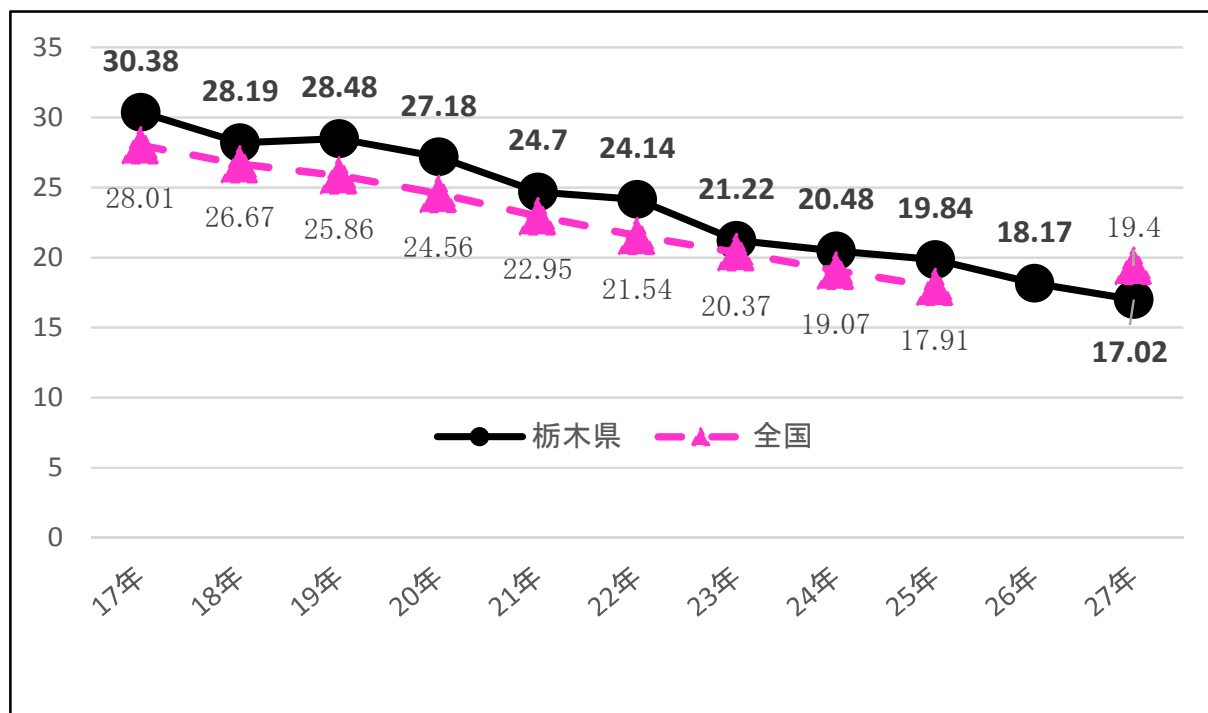
図 7 都道府県別 3 歳児のむし歯有病率 (平成 27 年度)



(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

図8 3歳児におけるむし歯有病率の推移

(%)



※平成26年は厚生労働省において未公表のため掲載していない。

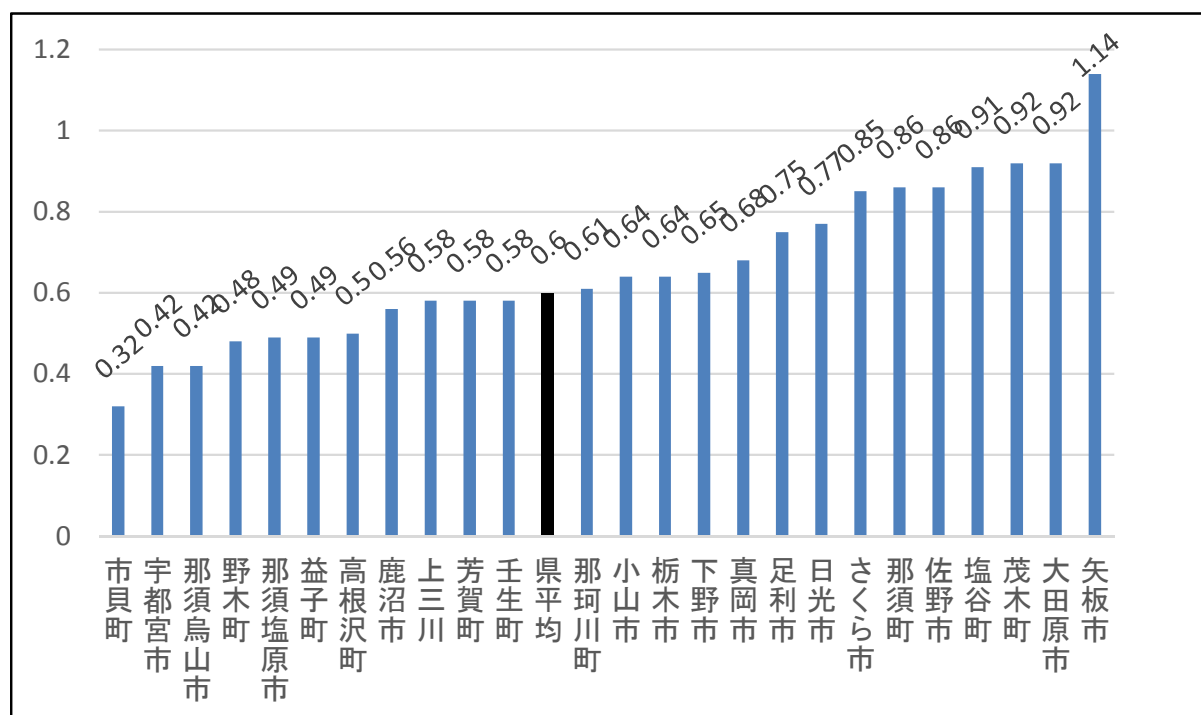
(栃木県保健福祉部健康増進課調べ)

(3) 一人平均むし歯数

平成27年度における一人平均むし歯数は県平均が0.60歯であり、最も多かったのは矢板市で1.14歯、最も少なかったのは市貝町で0.32歯でした(図9)。

図9 県内における3歳児の一人平均むし歯数 (平成27年度)

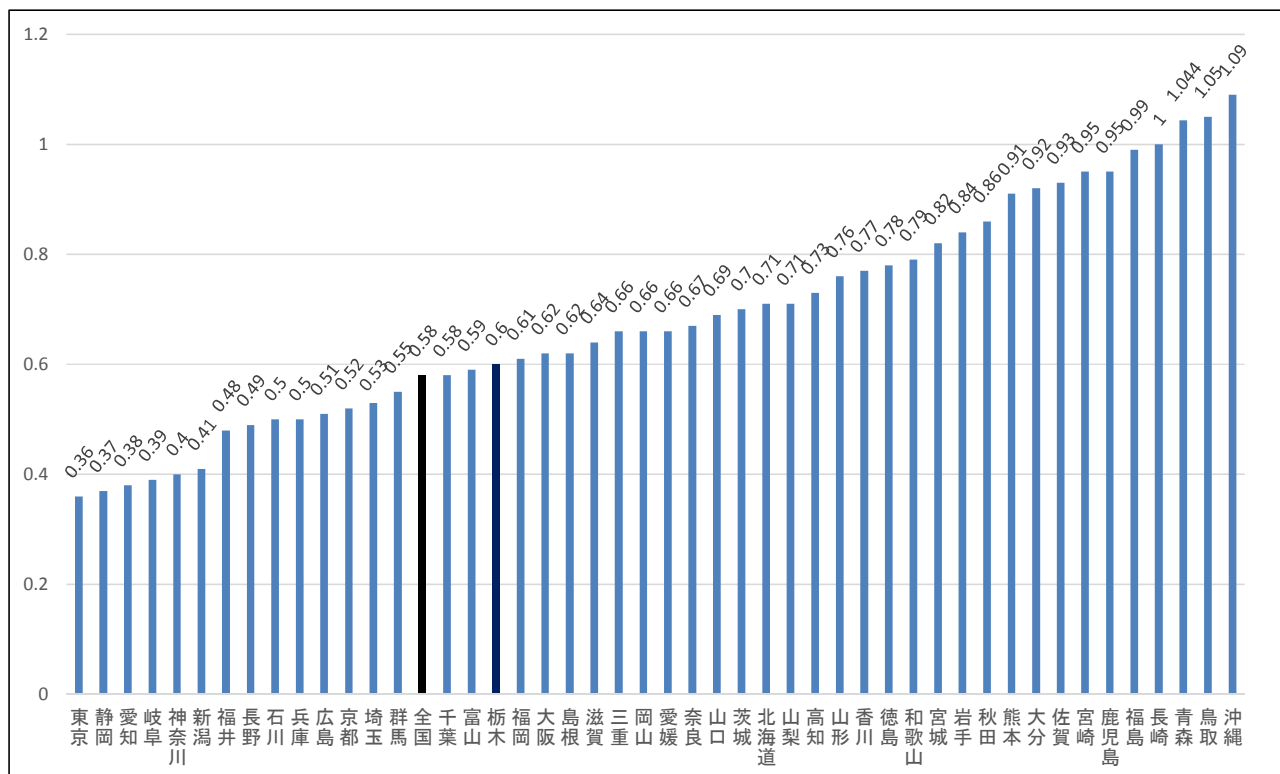
(本)



(厚生労働省「平成27年度 地域保健・健康増進事業報告」)

図 10 都道府県別 3歳児の一人平均むし歯数 (平成 27 年度)

(本)



(厚生労働省「平成 27 年度 地域保健・健康増進事業報告」)

3 園児・児童・生徒

園児（翌学年の初めから学校に入学予定の園児）については学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 11 条に基づき市町の教育委員会が、また、児童・生徒については同法第 13 条第 1 項に基づき各学校長が実施した健康診断の結果は次のとおりです。

(1) むし歯有病率(※)の推移

ア 園児（幼稚園児）

幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率については、平成 28 年度は 33.9%であり、過去 10 年間を通して減少傾向が続いています。

本県の有病率は平成 28 年度に全国平均より低くなりました。（表 3、図 11）。

※文部科学省の学校保健統計調査では「被患率」と表記しているが、本書では同義の「有病率」を使用している。

※本県の平成 26 年度は、調査対象が僅少で統計値として適当な数値が得られなかった等の理由で公表されていない。

表 3 幼稚園（5 歳児）におけるむし歯有病率の推移

(単位：%)

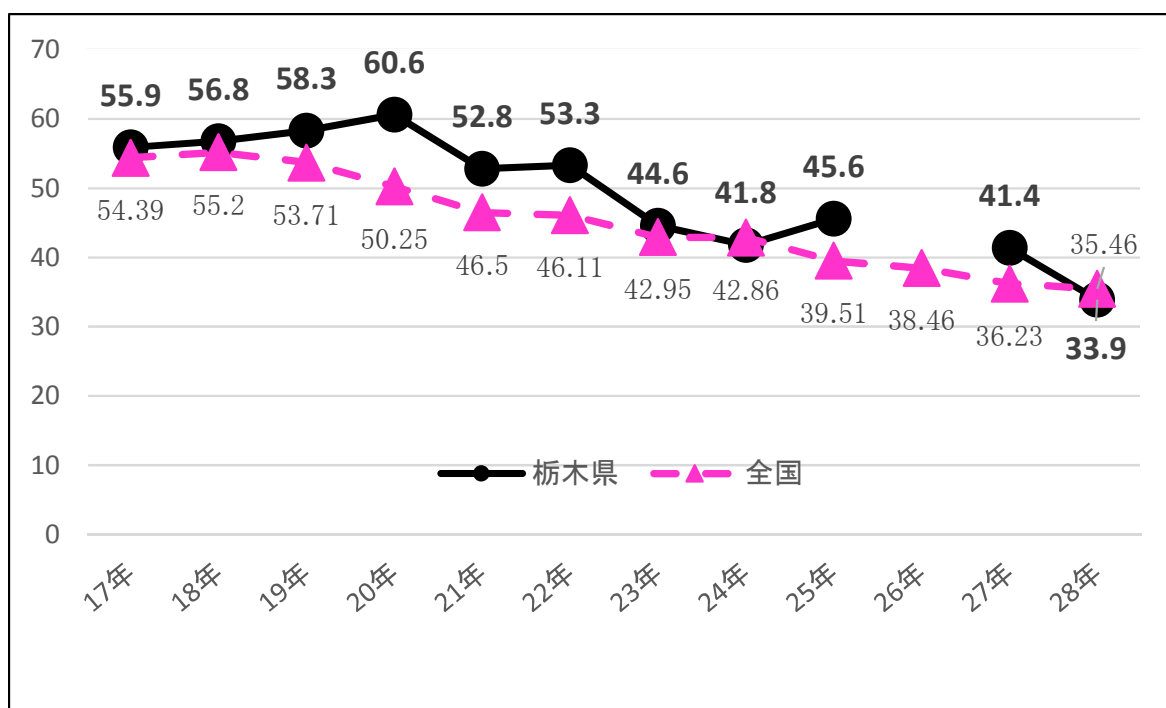
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
幼稚園	むし歯	合計	56.8	58.3	60.6	52.8	53.3	44.6	41.8	45.6	X	41.4	33.9
		処置完了者	15.5	23.3	24.7	20.7	17.7	16.2	16.1	18.2	X	15.7	10.1
		未処置歯のある者	41.2	35.0	35.9	32.2	35.6	28.3	25.8	27.4	X	25.6	23.9

(注) 四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

[出典：文部科学省「学校保健統計調査」]

図 11 幼稚園(5 歳児)におけるむし歯の有病率の推移

(%)



イ 小学生

小学生のむし歯有病率については、平成 22 年度から平成 25 年度までは約 60%と横ばいで推移していましたが、平成 28 年度は 54.4%まで減少しました（表 4）。

平成 28 年度の全国平均は 48.9%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 12）。

表 4 小学生におけるむし歯有病率の推移

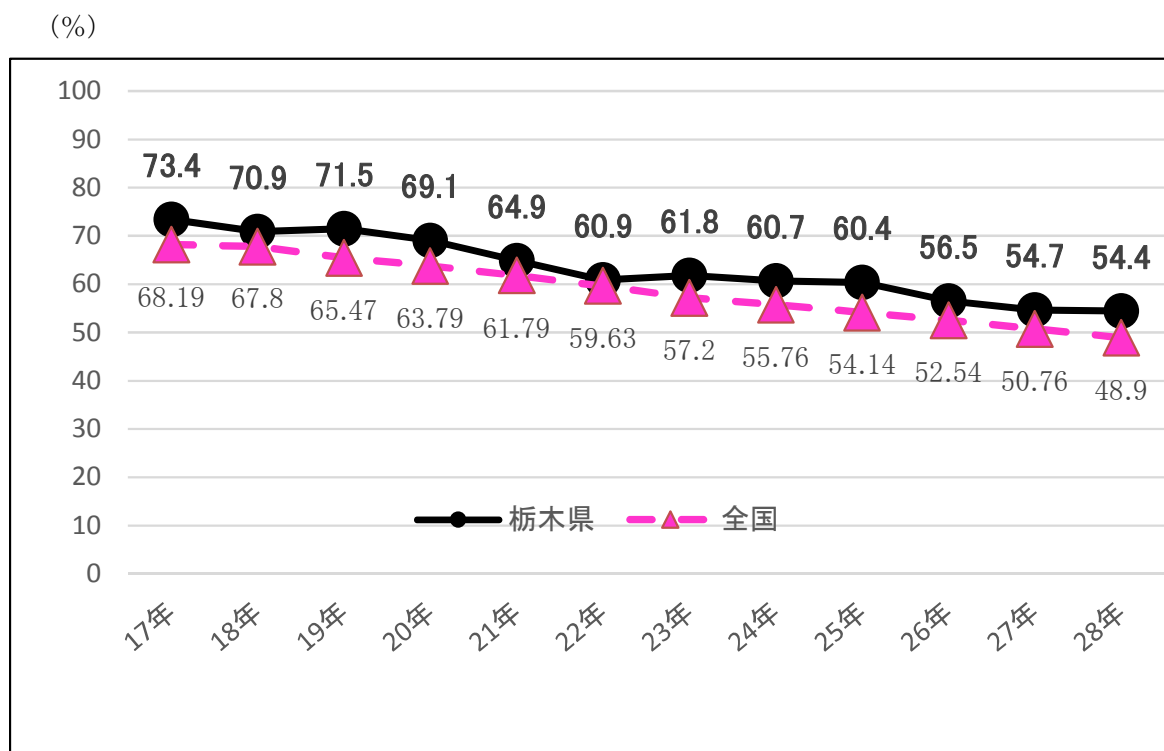
（単位：％）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
小学生	むし歯	合計	70.9	71.5	69.1	64.9	60.9	61.8	60.7	60.4	56.5	54.7	54.4
		処置完了者	31.8	32.2	31.5	29.0	26.7	28.7	26.0	27.1	26.6	24.2	25.6
		未処置歯のある者	39.2	39.2	37.6	35.9	34.2	33.1	34.7	33.3	29.9	30.5	28.8

（注）四捨五入の関係により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 12 小学校におけるむし歯の有病率の推移



ウ 中学生

中学生のむし歯有病率については、年度によって変動はあるものの減少傾向が続いており、平成 28 年度は 42.5%でした（表 5）。

平成 28 年度の全国平均は 37.5%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 13）。

表 5 中学生におけるむし歯有病率の推移

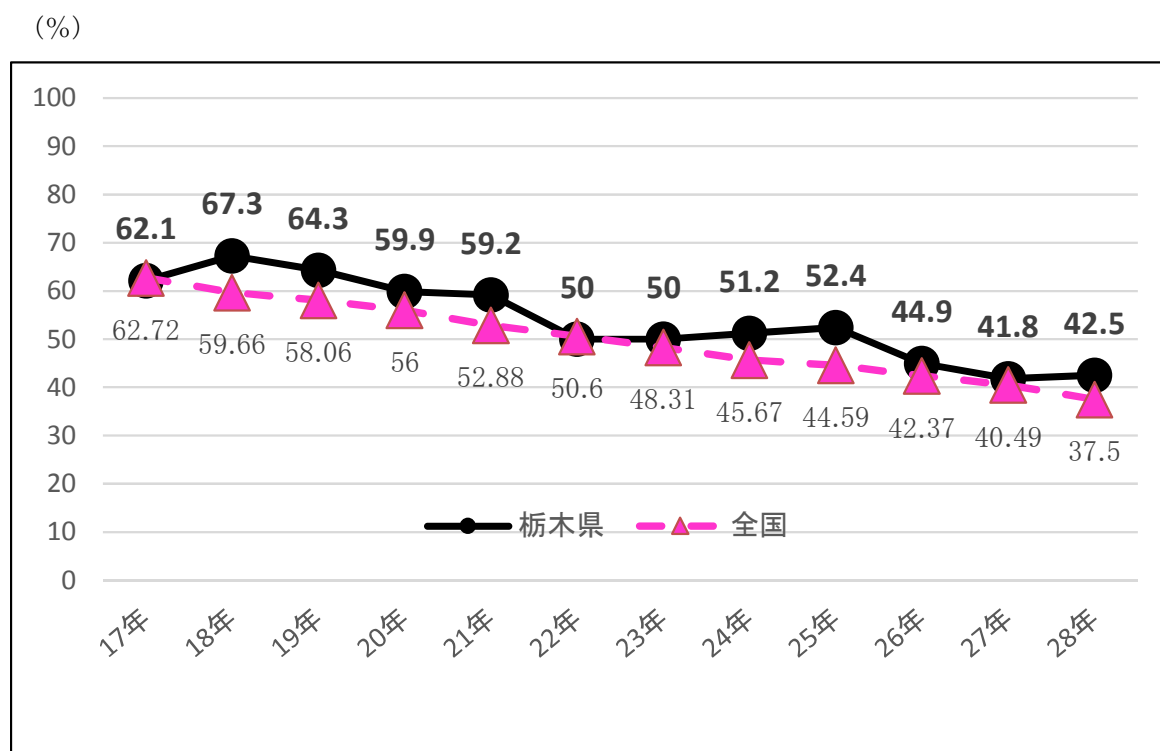
（単位：％）

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
中学生	むし歯	合計	67.3	64.3	59.9	59.2	50.0	50.0	51.2	52.4	44.9	41.8	42.5
		処置完了者	36.8	33.2	33.5	34.4	29.6	28.3	30.3	28.4	25.3	24.9	24.6
		未処置歯のある者	30.4	31.1	26.4	24.8	20.4	21.7	20.8	24.0	19.6	16.9	17.8

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 13 中学校におけるむし歯の有病率の推移



エ 高校生

高校生のむし歯有病率については、減少傾向が続いており、平成 28 年度は 53.9%まで減少しました（表 6）。

平成 28 年度の全国平均は 49.23%であり、本県の有病率は全国平均より高い状態が続いています。（図 14）。

表 6 高校生におけるむし歯有病率の推移

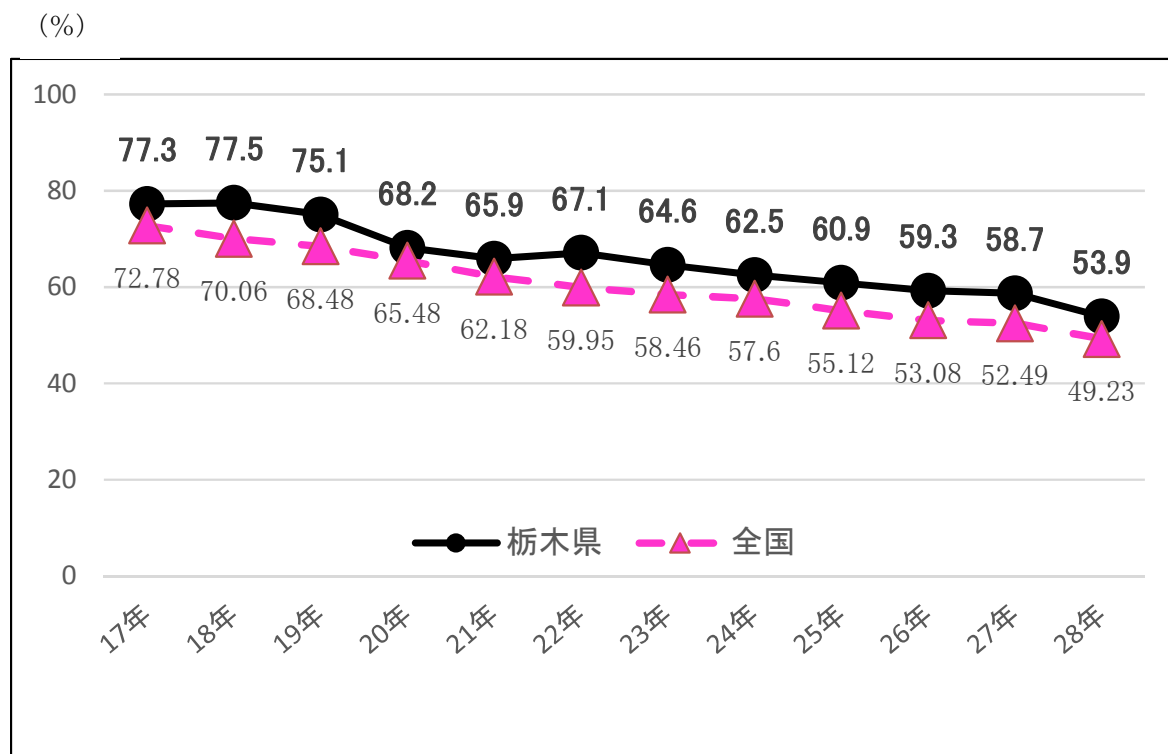
（単位：％）

			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
高校生	むし歯	合計	77.5	75.1	68.2	65.9	67.1	64.6	62.5	60.9	59.3	58.7	53.9
		処置完了者	45.8	42.3	41.9	37.4	39.6	36.5	35.5	32.9	36.8	33.9	30.6
		未処置歯のある者	31.7	32.9	26.4	28.5	27.5	28.1	27.2	28.0	22.6	24.9	23.2

（注）四捨五入により、合計欄の値と内訳の計が一致しない場合がある。

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図 14 高校におけるむし歯の有病率の推移



(2) 12歳の永久歯の一人平均むし歯等数

12歳の一人平均むし歯等数は、永久歯が生えそろった直後の指数となるため、国際的な判断基準（WHO：世界保健機構）となっています。

12歳の永久歯の一人平均むし歯数については、平成27年度には1.0歯まで減少しましたが、平成28年度は1.1歯に増加し、「栃木県歯科保健基本計画」の目標値である「1.0歯以下」を達成できませんでした。全国平均は0.83歯でした（表7、図15）。

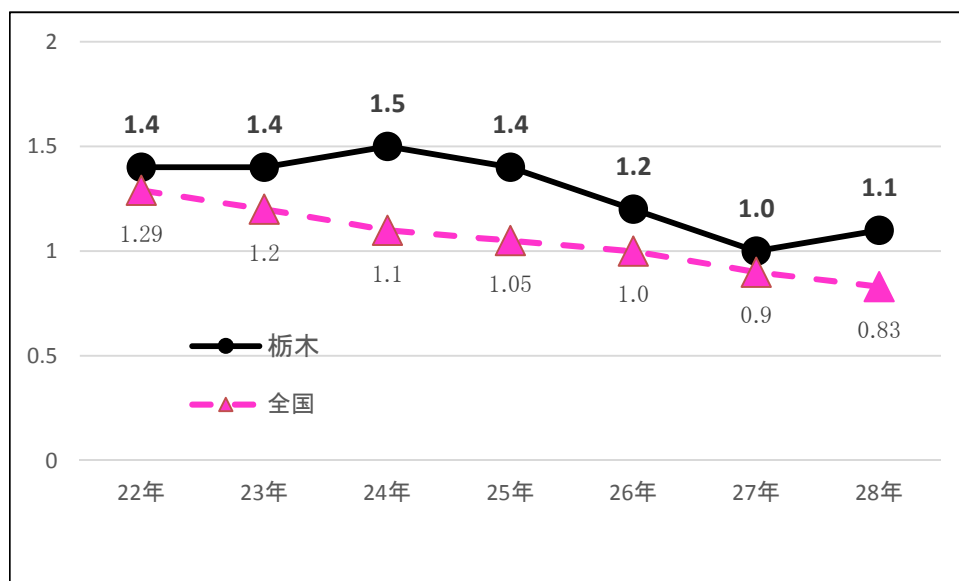
表7 12歳の永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯数（平成28年度）
（単位：歯）

区分	計	喪失歯数	むし歯（う歯）		
			計	処置歯数	未処置歯数
計	1.1	0.0	1.1	0.7	0.4
男	1.0	0.0	1.0	0.6	0.4
女	1.1	0.0	1.1	0.7	0.4

〔出典：文部科学省「学校保健統計調査」〕

図15 12歳における永久歯の一人平均むし歯数及び喪失歯の推移

（歯）



4 成人・高齢者

(1) 歯周病検診実施状況

市町が健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づき実施した 40 歳、50 歳、60 歳及び 70 歳の住民を対象とした歯周病検診の結果は次のとおりです。

ア 実施状況

平成 28 年度、歯周病検診を実施した市町は全市町で実施されました。受診者数は 4,761 人で、実施市町の対象人口 77,709 人で受診率は 6.2%で、全国平均 4.2%より高い結果でした。

イ 平成 28 年度各市町実施状況一覧（表 8）

※ 日光市は「日光市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき実施しており、判定基準が異なるため、受診率の算出からは除外しました。

（単位：人）

市町名	40歳			検査結果			50歳			検査結果		
	対象者数	受診者数		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対象者数	受診者数		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
		男	女					男	女			
宇都宮市	2,353	100	304	350	23	31	1,616	28	142	155	3	12
鹿沼市	1,306	34	56	70	14	6	1,083	29	39	49	14	5
※日光市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真岡市	1,180	39	85	103	9	12	869	37	65	92	3	7
益子町	327	5	14	11	3	5	280	4	13	10	4	3
茂木町	147	1	3	1	3	0	137	0	2	2	0	0
市貝町	152	4	3	4	2	1	143	0	2	2	0	0
芳賀町	205	1	3	4	0	0	163	1	2	1	0	2
栃木市	2,142	48	96	124	10	10	1,808	26	85	96	11	4
小山市	615	5	26	15	12	4	463	3	4	6	1	0
下野市	808	4	14	16	0	2	647	3	9	12	0	0
上三川町	448	4	12	11	4	1	412	3	12	13	1	1
壬生町	531	11	27	23	2	13	425	6	17	13	3	4
野木町	344	2	3	5	0	0	272	3	4	7	0	0
大田原市	1,001	13	37	38	4	7	774	8	24	24	0	6
矢板市	445	1	10	8	3	0	376	1	3	3	0	1
那須塩原市	1,678	37	89	61	43	22	1,380	24	58	36	30	16
さくら市	706	28	41	30	27	8	483	10	22	14	11	4
那須烏山市	324	1	1	0	1	1	272	0	1	1	0	0
塩谷町	101	0	1	0	1	0	128	0	1	0	1	0
高根沢町	392	0	1	1	0	0	359	0	0	0	0	0
那須町	275	4	10	11	1	2	262	1	4	4	0	1
那珂川町	172	0	1	1	0	0	170	3	4	6	0	1
足利市	2,150	6	8	7	4	3	1,948	6	12	15	3	0
佐野市	1,647	17	36	38	12	2	1,421	1	10	6	1	4
計	19,449	365	881	932	178	130	15,891	197	535	567	86	71

市町名	60歳			検査結果			70歳			検査結果		
	対象者数	受診者数		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず	対象者数	受診者数		要 精 検 者	要 指 導 者	異 常 認 め ず
		男	女					男	女			
宇都宮市	2,992	46	187	207	13	13	4,502	196	271	421	22	24
鹿沼市	1,409	35	51	67	13	6	1,292	64	71	107	20	8
※日光市		-	-	-	-	-		-	-	-	-	-
真岡市	1,116	46	72	108	6	4	1,037	90	92	159	16	7
益子町	377	6	14	12	5	3	339	17	10	17	6	4
茂木町	234	5	3	4	4	0	211	2	2	3	1	0
市貝町	186	3	3	4	0	2	137	6	1	4	3	0
芳賀町	229	3	5	6	2	0	247	5	6	10	1	0
栃木市	2,230	69	104	146	23	4	2,515	105	157	242	14	6
小山市	1,025	7	28	22	11	2	1,447	39	47	49	31	6
下野市	778	0	13	12	0	1	744	7	10	16	0	1
上三川町	441	5	17	12	10	0	367	5	10	10	5	0
壬生町	535	15	23	27	2	9	611	28	21	26	2	21
野木町	494	5	11	10	3	3	270	9	11	15	2	3
大田原市	1,051	12	27	31	3	4	927	28	37	44	8	7
矢板市	500	2	3	4	0	1	339	7	4	9	0	2
那須塩原市	1,505	37	81	60	36	22	1,543	67	126	80	72	41
さくら市	562	12	30	19	16	4	372	5	5	2	4	3
那須烏山市	460	3	6	4	3	2	248	2	7	4	3	2
塩谷町	170	0	2	1	1	0	191	0	0	0	0	0
高根沢町	384	4	3	7	0	0	316	2	1	0	3	0
那須町	434	7	14	17	0	4	449	21	21	35	1	6
那珂川町	315	8	11	17	0	2	239	5	11	15	0	1
足利市	1,984	6	9	11	4	0	1,761	13	30	29	4	10
佐野市	1,715	6	22	21	5	2	1,139	9	19	20	5	3
計	21,126	342	739	829	160	88	21,243	732	970	1,317	223	155

(2) 6024 及び 8020 達成者

平成 28 年度県民健康・栄養調査の速報値では、60 歳で 24 歯以上自分の歯を有する者（6024 達成者）の割合は 52.2%、80 歳で 20 歯以上自分の歯を有する者（8020 達成者）は 34.8%となっています。前回調査（平成 21 年度）と比べて、6024 達成者はほとんど変わらず、8020 達成者は 10.9%増加しました（表 9）。

表 9 60 歳で 24 歯以上、80 歳で 20 歯以上の歯を有する者の割合

(単位：%)

	60 歳(55-64 歳)で 24 歯以上			80 歳(75-84 歳)で 20 歯以上		
	H15	H21	H28	H15	H21	H28
達成率	42.1	52.7	52.2※	18.85	23.9	34.8※

※ 栃木県保健福祉部健康増進課「平成 28 年度県民健康・栄養調査」の速報値]

[参考] 歯周病と糖尿病の関連性

歯周病は糖尿病の「第 6 の合併症」と言われており、糖尿病患者は健常者に比べて歯周病が悪化しやすいことが分かっています。

また、慢性炎症としての歯周病を改善することで、糖尿病が改善する可能性があることも分かっています。

県内の歯周病及び糖尿病患者数については、次のとおりです（表 10）。

表 10 県内の歯周病及び糖尿病の推計患者数

(単位：千人)

	歯肉炎及び歯周疾患	糖尿病
推計患者数	5.2	55

[出典：厚生労働省「平成 26 年患者調査」]

Ⅲ 平成28年度歯科保健医療対策体系

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、県、市町等が実施した歯科保健医療に関する対策については次のとおりです。

区分 (栃木県歯科保健基本計画 施策体系毎)	事業名	IV (参 照) 講 じた 施 策	ライフステージ				実施主体			
			乳 幼 児	学 校	成 人	高 齢 者	県	教 育 委 員 会	市 町	関 係 機 関
歯や口腔と関係する病気等の予防の推進	栃木県口腔保健支援センター	1-(1)	○	○	○	○	○			
	健康相談	1-(2)	○	○	○	○	○			○
	各種広報媒体を活用した広報活動	1-(3)	○	○	○	○	○			○
	普及啓発	1-(4)	○	○	○	○	○			○
	フッ化物洗口実施に係る技術的支援	1-(5)		○			○			
	フッ化物洗口実施支援事業	1-(6)		○					○	
	歯と口の健康週間事業	1-(7)	○	○	○	○	○		○	○
	栃木県歯科保健賞	1-(8)	○	○	○	○	○	○		○
	よい歯のコンクール(親と子・三歳児)	1-(9)	○				○		○	○
	よい歯の優良学校コンクール	1-(10)		○			○	○		○
	よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール	1-(11)		○			○	○		○
歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及	へき地巡回歯科診療事業	2-(1)	○	○	○	○	○			○
	健康教育	2-(2)	○				○			○
	永久歯等対策事業(保育所・幼稚園)	2-(3)	○				○			○
	妊産婦歯科健診、集団指導		○						○	
	乳幼児健診等での指導		○						○	
	1歳6か月児健診		○						○	
	2歳児歯科健診、歯科保健指導		○						○	
	3歳児健診		○						○	
	学校歯科検診等			○				○		○
	歯周疾患健康相談、健康教室				○	○			○	
	歯周疾患検診(40・50・60・70歳)				○	○			○	
成人歯科健診事業	2-(4)			○				○		
歯科疾患実態調査	2-(5)	○	○	○	○				○	
障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保	障害者歯科診療事業	3-(1)	○	○	○	○	○			○
	障害者歯科医療システムの運用	3-(2)	○	○	○	○	○			○
	障害者高次歯科医療提供体制整備事業	3-(2)	○	○	○	○				○
	永久歯等対策事業(再掲)		○				○			○
	福祉施設巡回歯科相談・指導事業	3-(3)	○	○	○	○	○			○
	在宅歯科診療連携推進事業	3-(4)	○	○	○	○	○			○
	在宅歯科医療従事者研修事業	3-(4)	○	○	○	○	○			
	障害者摂食嚥下指導普及啓発事業	3-(5)	○	○	○	○	○			○
歯科保健医療提供体制の整備	歯科衛生士再就職支援事業	4-(1)	○	○	○	○	○			○
	歯科保健指導者・医療従事者研修事業	4-(2)	○	○	○	○	○			○
	歯科保健推進協力交付金	4-(3)	○	○	○	○	○			
	栃木県歯科保健推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			
	8020運動推進協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			
	とちぎ歯の健康センター運営等協議会	4-(4)	○	○	○	○	○			

IV 平成28年度に講じた施策

1 歯や口腔と関係する病気等の予防の推進

歯や口腔の病気の予防は、全身の健康づくりや疾病等の予防の観点からも重要であることから、歯や口腔の病気の予防等の各施策を適正かつ効果的に進めていくため、調査研究や成果の普及、情報収集や提供に関する事業を実施しました。

(1) 栃木県口腔保健支援センターを設置【新規】

栃木県口腔保健支援センターは歯科専門職を配置し、県民の口腔機能の維持向上を目指して、市町や関係機関等と連携しながら、歯科保健対策の企画立案、指導助言などを行いました。

- ・センター長： 栃木県保健福祉部健康増進課長
- ・事務局： 栃木県保健福祉部健康増進課（歯科医師及び歯科衛生士を各1名配置）

(2) 健康相談

とちぎ歯の健康センターにおいて、電話及び来所による歯科保健に関する相談を実施しました。

- ・受付時間：午前9時～午後4時30分

相談件数及び相談内容別内訳

内容	治療内容について						予防 指導	障害者等 の 歯科相談	その他	合 計
	むし歯	歯周疾患	抜歯	補綴	矯正	その他				
件数	10件	6件	8件	38件	2件	30件	7件	2件	41件	144件

(参考) 平成27年度相談件数：107件

(3) 各種広報媒体を活用した広報活動

テレビやラジオ等の広報媒体を活用し、広く県民に普及啓発を行いました。

実施月	媒 体 等	番組テーマ・広報紙配布先
6月	とちぎテレビ／県政ひとくちメモ	歯と口腔の健康づくり
4、6、9、10月	県政出前講座（宇都宮市、足利市、下野市）	歯や口腔の健康づくり
3月	・お口の健康ガイド(妊産婦・乳幼児健診等で配布) ・フッ化物応用に関する啓発リーフレット 各1万部	市町及び小学校に配布

(4) 普及啓発

とちぎ歯の健康センターの「展示コーナー」、「図書資料室」における各種資料の展示及び各種広報媒体を活用し、普及啓発活動を行いました。

ア 展示コーナー、図書資料室における資料貸出し状況

	図書	ビデオ・DVD	公衆衛生教材・展示物	生涯ライブラリー	合 計
貸出数	40件（81点）	37件（83点）	60件（182点）	2件（4点）	139件

(参考) 平成27年度総貸出件数：127件

イ 機関紙等発行

とちぎ歯の健康センターだより 第23号

ウ 視察研修

診療所及び展示コーナーの見学、センター事業の説明、研修、体験学習等

(5) フッ化物洗口実施に係る技術的支援

市町や小中学校におけるフッ化物洗口の実施にあたり歯科専門職による技術的支援を行いました。

従事歯科医師数	市町名	実施人員
115人	足利市、日光市、大田原市、高根沢町、那須町、那珂川町	11,193人

(6) フッ化物洗口支援事業【新規】

小学校で、フッ化物洗口を実施する市町に対して助成を行いました。

市町名	小学校数	実施人数
大田原市	21校	3,655人
高根沢町	6校	1,449人

(7) 歯と口の健康週間事業

歯と口の健康週間に歯と口腔に関する正しい知識の普及を図るため、県内11ヶ所において講演会・保健指導を実施しました。

実施回数	対象者	参加者数
11回	一般県民	4,887人

(8) 栃木県歯科保健賞

栃木県歯科保健賞は、昭和52年に栃木県歯科医師会が第29回保健文化賞を受賞したことを記念して創設されたものです。

県内における歯科保健衛生の分野で、優れた業績を挙げた団体及び個人の功績に対して、顕彰を行いました。

団体の部	あしかが介護支援専門員連絡会
個人の部	続 橋 正 喜 (歯科技工士)

(9) 親と子のよい歯のコンクール・三歳児よい歯のコンクール

親と子の口腔衛生の向上及び普及啓発を図るため、3歳児健診を受診した幼児及びその親を対象に、コンクールを実施しました。

ア 審査内容

- ・第1次審査(市町)：3歳児健診結果の書類審査又は歯科診査
- ・第2次審査(宇都宮市、各広域健康福祉センター)：歯科診査
- ・第3次審査(栃木県歯科医師会、県)：歯科診査

イ 審査結果

コンクール名	審 査				審査結果(第3次)		
	第1次	第2次	第3次	中 央	最優秀	優 秀	優 良
親と子	63組	29組	10組	1組	1組	3組	6組
三歳児	330人	81人	11人		1人	3人	7人

(参考) 平成27年度応募者数：親と子 58組、三歳児 290人

(10) よい歯の優良学校コンクール

児童生徒の歯科保健の向上発展を図るため、栃木県教育委員会・栃木県歯科医師会との三者共催で、コンクールを実施しました。

ア 審査内容

各小・中学校の定期健診結果、学校保健活動の充実度、歯科保健活動の状況及びう歯総数・処置歯率等を総合的に審査しました。

イ 審査結果

区分	参加校	栃木県知事賞	栃木県議会議長賞	栃木県教育長賞	栃木県医師会長賞	栃木県歯科医師会長賞	入選
小学校	196校	1校	2校	3校	3校	9校	50校
中学校	77校	1校	2校	3校	3校	9校	20校

(参考) 平成27年度参加数：小学校 211校、中学校 82校

	小学校の部	中学校の部
栃木県知事賞	宇都宮市立泉が丘小学校	栃木市立西方中学校
栃木県議会議長賞	下野市立祇園小学校	日光市立日光中学校
	宇都宮市立峰小学校	那須町立那須中学校
栃木県教育長賞	宇都宮市立清原南小学校	宇都宮市立清原中学校
	宇都宮市立陽南小学校	大田原市立金田南中学校
	宇都宮市立岡本北小学校	大田原市立湯津上中学校
栃木県医師会長賞	宇都宮市立西原小学校	佐野市立田沼西中学校
	栃木市立静和小学校	日光市立東原中学校
	宇都宮市立御幸が原小学校	宇都宮市立陽東中学校
栃木県歯科医師会長賞	上記 9校	上記 9校

(11) よい歯の図画・ポスター、作文、標語コンクール

歯と口の健康週間事業の一環として、小中学校の児童から図画・ポスター、作文、標語に関するコンクールを実施しました。

区分		特選	入選
図画ポスター	小学校	2点	21点
	中学校	1点	9点
作文	小学校	2点	17点
	中学校	1点	8点
標語	小学校	2点	22点
	中学校	1点	11点

2 歯や口腔の健康に関する啓発と検診の普及

県民自らが歯や口腔の健康づくりの重要性を理解し、実践的に取り組むため、学習や歯科検診の機会を提供しました。

(1) ヘき地歯科巡回診療

無歯科医地区を有する市町の中で、要請のあった地域の住民に対して、歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」による歯科診療を実施しました。

No.	市町名	実施場所	実施回数	実人数	延人数
1	日光市	栗山小学校	6回	6人	27人
2	那珂川町	馬頭東小学校	9回	8人	64人
3	那珂川町	馬頭西小学校	9回	7人	30人
合 計			24回	21人	121人

(参考) 平成27年度実施状況：24回、24人(延171人)

(2) 健康教育

とちぎ歯の健康センターにおいて、歯科保健に関する健康教育を実施しました。

(3) 永久歯等対策事業

県内の保育所・幼稚園・認定こども園、障害児通所施設、盲・聾・特別支援学校の幼児と保護者等を対象に、歯科衛生士が「六歳臼歯の重要性」の説明や歯科保健指導を行いました。

種 別	実施回数	対象者数
保育所・幼稚園	82回	3,161人
障害児通所施設	14回	250人
盲・聾・特別支援学校	10回	215人
合 計	106回	3,626人

(参考) 平成27年度実施状況：55回、1,777人

(4) 成人歯科健診事業

40歳未満の成人を対象とした歯科健診事業に対して助成を行いました。

市町名：鹿沼市

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
受診者数	34人	111人	99人	107人	90人	142人	63人	646人

(参考) 平成27年度受診者数：551人

(5) 歯科疾患実態調査

国(厚生労働省)において、歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的として、昭和32年から実施しています。

県は国から調査を受託し、国が無作為に抽出した全国150地区のうち、那須塩原市の対象地区において、満1歳以上の住民を対象に調査を実施しました。

対象地区	調査日時	調査者数
那須塩原市	10月12、13日	178人

3 障害児者・要介護者への歯科保健医療サービスの確保

歯科検診等を受けることが難しい状況にある障害者や要介護高齢者等に対して、歯科保健医療サービスを確保するための事業を実施しました。

(1) とちぎ歯の健康センター診療所

1階の診療所において、障害者を対象に歯科診療を実施しました。

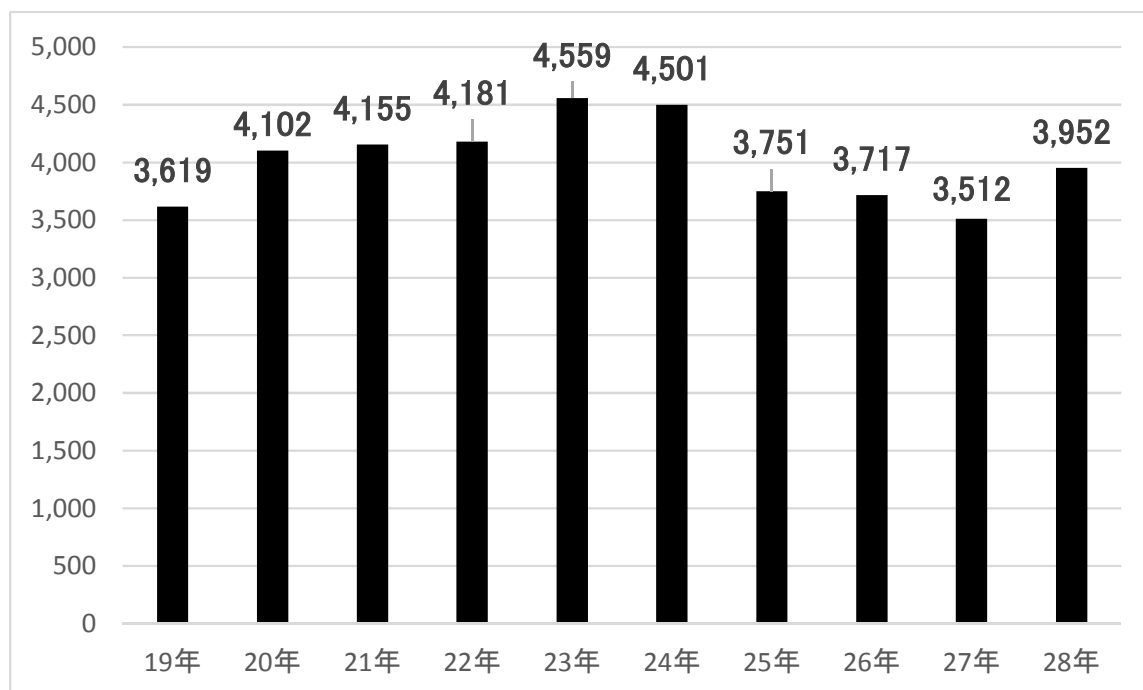
ア 診療体制

- ・診療日 月曜日～金曜日（予約制）
- ・診療時間 午前：9時～12時、午後：1時30分～5時
- ・スタッフ
 - 午前：歯科医師 1人（常勤）
 歯科衛生士 6人（常勤）
 - 午後：歯科医師 3人（常勤1人、輪番制診療実行委員2人）
 歯科衛生士 7人（常勤6人、他1人）

月別の延患者数

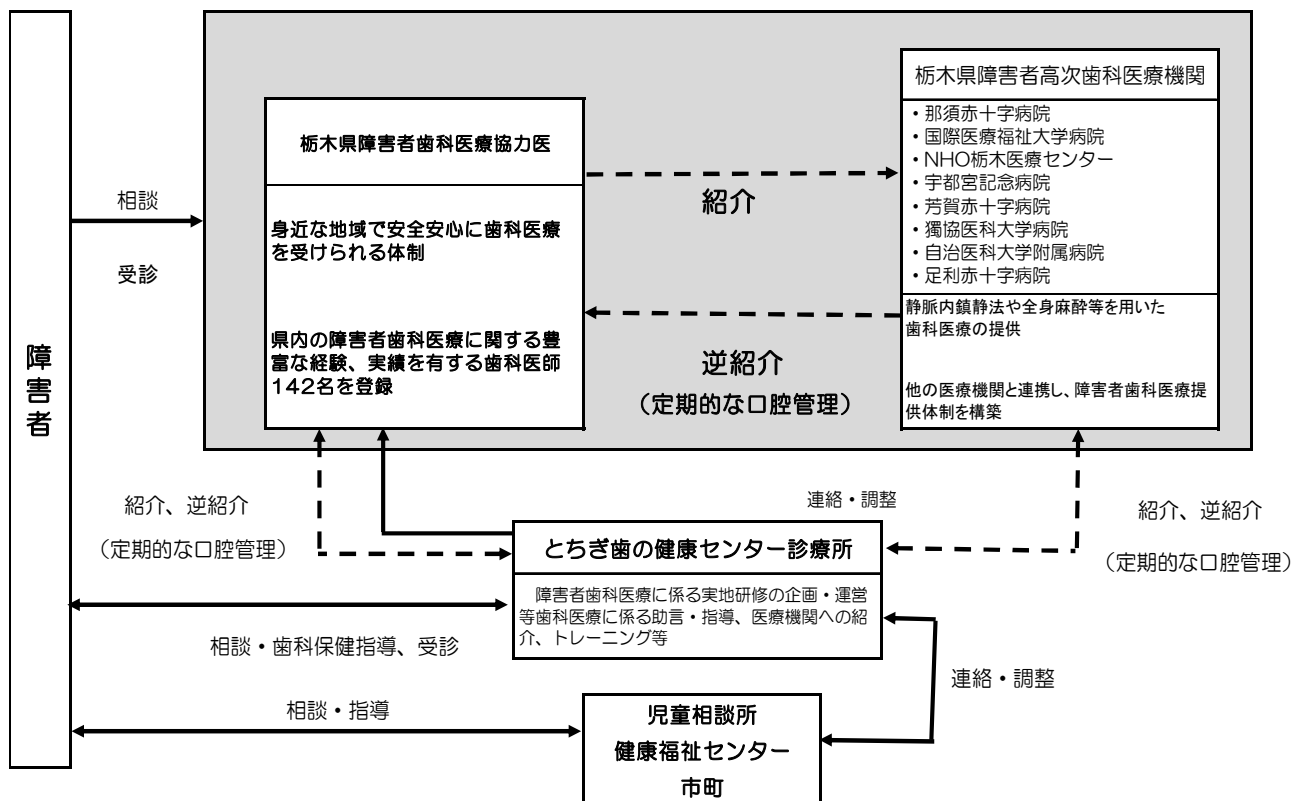
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療日数	20	19	22	19	19	19	20	20	18	18	20	22	236
延患者数	320人	328人	363人	318人	301人	311人	321人	344人	313人	308人	339人	386人	3,952人

イ 診療実績（延患者数）の推移 （人）



(2) 栃木県障害者歯科医療システムの運用

障害者が住み慣れた身近な地域の中で歯科医療を受けられるようにするため、新たに「栃木県障害者歯科医療システム」を構築しました。



ア 栃木県障害者歯科医療協力医の登録【新規】

障害者が住み慣れた身近な地域で適切な歯科医療を受けられることができるよう、障害者歯科医療に取り組む県内の歯科医師 142 人を「障害者歯科医療協力医」として登録しました。

2次保健医療圏	県北	県西	宇都宮	県東	県南	両毛	合計
障害者歯科医療協力医	20人	27人	24人	8人	41人	22人	142人

イ 栃木県障害者高次歯科医療機関の指定・機器整備【新規】

障害者患者に静脈内鎮静法や全身麻酔等を用いた歯科医療を提供する次の8つの医療機関を「栃木県障害者高次歯科医療機関」に指定するとともに、機器整備に対して助成しました。

<障害者高次歯科医療機関> 平成29年4月1日現在

那須赤十字病院、国際医療福祉大学病院、NHO 栃木医療センター、宇都宮記念病院、芳賀赤十字病院、獨協医科大学病院、自治医科大学附属病院、足利赤十字病院

ウ 障害者高次歯科医療機関による研修会の開催【新規】

障害者高次歯科医療機関において、障害者歯科医療に関する知識の普及と連携促進のため、障害者歯科医療協力医を対象に研修会を開催しました。

実施日	内容	講師	会場	参加人数
1月21日(土)	最新の歯周病病因論の理解と障害者への効果的な歯周治療に関する講義と実習	獨協医科大学病院 土屋 和子氏	獨協医科大学病院	歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師 計 57人
2月5日(日)	・障害者や有病者への歯科診療に関する講義 ・緊急時対応の実習 (モニタリング、心臓マッサージ、AED等)	宇都宮記念病院 佐々木 忠昭氏 他 スタッフ 11名 (副看護部長、救急部スタッフ、臨床工学技士等)	宇都宮記念病院	歯科医師、歯科衛生士・助手、歯科技工士 計 39人

エ 障害者高次歯科医療提供体制整備事業【新規】

障害者へ静脈内鎮静法や全身麻酔法などを用いた歯科医療を提供するためのNH0宇都宮病院の機器整備に対して助成しました。

(3) 福祉施設巡回歯科相談・指導事業

歯科巡回診療バス「ルリちゃん号」が、要請のあった障害者又は高齢者の入所施設を訪問し、歯科健診・相談・指導等を実施しました。

種 別	実施回数	対象者数
障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	13回	345人
特別養護老人ホーム	25回	654人
合 計	38回	999人

(参考) 平成27年度実施状況：40回、918人

(4) 在宅歯科医療推進事業

在宅歯科医療を推進するための各種事業を実施しました。

ア 在宅歯科医療連携室

在宅歯科医療に関する相談や診療所の紹介、ポータブル歯科医療機器の貸出などを行う「在宅歯科医療連携室」の運営費に対して助成を行いました。

区 分	相談対応	機器貸出
件 数	55件	64件

(参考) 平成27年度実施状況：相談対応 56件、機器貸出 0件

イ 在宅歯科医療従事者研修

実施日	内容	講師	会 場	参加人数
11月20日(日)	食べること生きること ～生命(いのち)を支える口腔ケア～	ふれあい歯科ごとう 五島 朋幸氏	栃木県歯科医師会館	63人
3月5日(日)	訪問歯科診療の実際と今後の課題について	日本歯科大学新潟病院 訪問歯科口腔ケア科 科長 白野 美和氏		82人

(参考) 平成27年度実施状況：2回、139人

(5) 障害者摂食嚥下指導普及啓発事業

障害者や要介護者に対する摂食嚥下指導の重要性について医療従事者等の理解促進を図るため、研修会を実施しました。

実施日	内 容	講師	会場	参加人数	備考
12月18日 (日)	(1) 講演 ① 地域連携における栄養療法と摂食嚥下 ② 障がい児の摂食嚥下 ③ 成人の摂食嚥下リハビリテーション	①群馬大学教育学部 教授 吉野 浩之 氏 ②那須赤十字病院 歯科口腔外科部長 伊藤 弘人 氏 ③足利赤十字病院 リハビリテーション科 尾崎 研一郎 氏	栃木県歯科 医師会館	70人	【実習協賛企業】 ・オリンパス ・サンメディックス ・イーエヌ大塚製薬 ・大塚製薬工場 ・アボットジャパン
1月29日 (日)	(2) 実習 ・ソフト食等の試食 ・嚥下内視鏡			51人	

(参考) 平成 27 年度実施状況： 3回、261人

4 歯科保健医療提供体制の整備

県民の生涯にわたる健康の保持増進を図るため、保健、医療、福祉、教育等関係者の資質向上や連携強化に取り組みました。

(1) 歯科衛生士再就職支援事業

出産・子育て等を理由に離職した歯科衛生士の再就職を支援するため、研修を行いました。

実施日	内 容	講 師	会 場	参加人数
5月22日 (日)	歯科診療に関する講義 及び実習	・オマージュ代表 ／接遇コンサルタント 富沢 三輪子氏 ・とちぎ歯の健康センター 歯科衛生士 原 瑞穂 氏 星野 小百合 氏	とちぎ歯の健康センター 栃木県歯科医師会館	4人
8月21日 (日)		33人		
10月30日 (日)		24人		
2月5日 (日)		27人		

(参考) 平成 27 年度実施状況： 2回、13人

(2) 歯科保健指導者・歯科医療従事者研修会

歯科保健指導者、歯科医療従事者を対象に教育・研修を実施しました。

実施日	内容・講師	会場	参加人数
2月19日 (日)	<p>(1)講演</p> <p>①「障害児・者への歯科医療—注意すべき症候群とてんかんへの対応—」 講師：大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 准教授 秋山 茂久 氏</p> <p>②「障害者差別解消に向けた栃木県の取組」 講師：栃木県保健福祉部障害福祉課 課長 國井 隆弘 氏</p> <p>(2)パネルディスカッション 「障害者差別解消に向けた栃木県の取組」 [パネリスト] ・大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 准教授 秋山 茂久 氏 ・栃木県保健福祉部障害福祉課長 國井 隆弘 氏 ・栃木県歯科医師会 常務理事 箱島 光一氏 [コーディネーター] ・とちぎ歯の健康センター 指導医 向井 美恵氏</p>	栃木県歯科医師会館	54人

(参考) 平成27年度実施状況：1回、59人

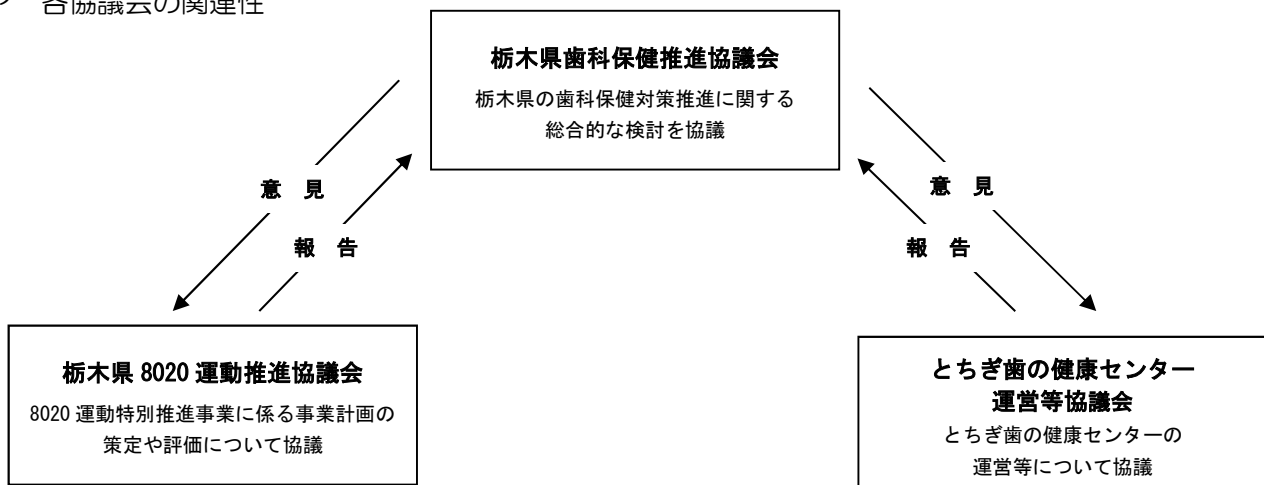
(3) 歯科保健推進協力交付金

(一社) 栃木県歯科医師会が行う歯科保健対策推進事業に対し支援を行いました。

(4) 歯科保健対策関連協議会

歯科保健対策事業の充実を図るため、3つの協議会を設置しています。

ア 各協議会の関連性



イ 栃木県歯科保健推進協議会

様々な分野の専門家を協議会委員に委嘱し、総合的な歯科保健対策事業について協議しました。

(ア) 平成28年度栃木県歯科保健推進協議会の結果

- ・日 時：平成28年8月24日(水) 午後2時～4時
- ・場 所：県庁本館 6階大会議室1
- ・出席者：委員14人
- ・議 題
 - (1) 平成28年度歯及び口腔の健康づくりに関する報告について
 - (2) 栃木県歯科保健基本計画（2期計画）の策定について
- ・報 告
 - (1) 平成28年歯科疾患実態調査について
 - (2) 栃木県障害者歯科医療協力医及び栃木県障害者高次歯科医療機関について
 - (3) 各市町における歯科保健条例制定及び計画策定状況について
 - (4) その他

(イ) 栃木県歯科保健推進協議会委員

	氏 名	所属・役職等
1	宮 下 均	栃木県歯科医師会 会長
2	田村 一夫	栃木県歯科医師会 副会長兼専務理事
3	瓦井 昭二	栃木県歯科医師会 常務理事（学校保健担当）
4	前 原 操	栃木県医師会 副会長
5	長谷 規子	栃木県歯科衛生士会 副会長
6	土屋 秋男	栃木県歯科技工士会 会長
7	川 田 亨	栃木県老人福祉施設協議会 理事（特別養護老人ホームかがやき施設長）
8	今泉 美佐子	栃木県保育協議会 理事（宇都宮市立竹林保育園長）
9	古 内 豊	市町村代表（茂木町保健福祉課長）
10	福 原 円	栃木県市町村保健師業務研究会 副会長（小山市健康増進課）
11	篠原 順子	中核市（宇都宮市健康増進課長）
12	古 川 弘	栃木産業保健総合支援センター 副所長
13	糸 まり子	栃木県栄養士会 会長
14	鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
15	青 山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

- ・任期：H28.8.22～H30.8.21（2年間）

ウ 栃木県 8020 運動推進協議会

歯科保健医療対策事業「8020運動推進特別事業」（国庫補助事業）の実施状況及び次年度計画について協議しました。

(ア) 平成 28 年度栃木県 8020 運動推進協議会

- ・日 時：平成29年3月2日(木) 午後2時30分～3時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室(宇都宮市一の沢2-2-5)
- ・出席者：委員7人
- ・議 題
 - (1) 平成28年度8020運動推進特別事業の実施状況について
 - (2) 平成29年度8020運動推進特別事業の実施計画案について

(イ) 栃木県 8020 運動推進協議会委員

氏名	所属・役職等
1 宮下 均	栃木県歯科医師会 会長
2 田村 一夫	栃木県歯科医師会 副会長兼専務理事
3 植原 雅章	栃木県歯科医師会 理事
4 林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5 鈴木 美恵子	栃木県食生活改善推進員協議会 会長
6 伊藤 満	栃木県教育委員会事務局 健康福利課長
7 青山 旬	栃木県立衛生福祉大学校 副校長兼歯科技術学部長

- ・任期：H29.3.1～H30.2.28(1年間)

エ とちぎ歯の健康センター運営等協議会

とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害者歯科診療、巡回歯科相談・指導、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に関する事業の実施内容の充実について協議しました。

(ア) 平成 28 年度とちぎ歯の健康センター運営等協議会

- ・日 時：平成29年3月2日(木) 午後3時30分～4時30分
- ・場 所：とちぎ歯の健康センター 3階研修室(宇都宮市一の沢2-2-5)
- ・出席者：委員5人
- ・議 題
 - (1) 平成27年度及び28年度の事業実施状況について
 - (2) 平成29年度事業実施計画案について

(イ) とちぎ歯の健康センター運営等協議会委員

氏名	所属・役職等
1 田村 一夫	栃木県歯科医師会 副会長兼専務理事
2 箱島 光一	栃木県歯科医師会 常務理事
3 塩野谷 敏裕	栃木県歯科医師会 理事
4 林 幸子	栃木県歯科衛生士会 会長
5 岩瀬 昭子	栃木県手をつなぐ育成会 副会長
6 峯山 敏正	栃木県障害者施設・事業協会 副会長

- ・任期：H29.3.1～H31.2.28(2年間)

V 平成29年度に講じる施策

事業名	事業説明	事業内容等	予防の推進	啓発と検診の普及	障害者等	体制整備等
歯及び口腔の健康づくり推進事業費 (1,697千円)	県民の歯及び口腔の健康づくりを推進するために要する経費	・協議会の開催 ・普及啓発の実施 ・地域における歯科保健対策の推進 ・市町の成人歯科健診事業への助成	○	○		○ ○
歯科保健普及啓発事業 (2,748千円)	歯科保健事業の充実及びその連絡調整事務等に要する経費	・よい歯のコントロール ・普及啓発リーフレットの作成	○ ○			
8020 運動推進事業 (1,934千円)	80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目標とした各種事業に要する経費	・協議会の開催 ◎多職種連携を促進するための栄養指導や口腔機能向上に関する研修の実施			○	○
障害者歯科医療システム整備事業等 (4,698千円)	障害や歯科疾患の程度に応じた歯科医療システムの円滑な運営に対する助成	・障害者高次歯科医療機関に研修会開催を委託・機器整備を助成 ・NHO宇都宮病院の機器整備への助成			○ ○	○ ○
歯科疾患予防推進事業 (2,595千円)	小学校において、フッ化物洗口を実施する市町に対する助成	・市町のフッ化物洗口に係る経費の助成	○			
医科歯科連携推進事業 (7,000千円)	新たに歯科を設置する地域医療支援病院の設備整備に対する助成	◎歯科を設置する地域医療支援病院の設備整備への助成				○
歯の健康センター事業 (48,154千円)	とちぎ歯の健康センターを拠点とした障害児者歯科診療、巡回歯科相談、歯科保健に関する相談・指導及び普及啓発等に要する経費	・普及啓発の実施 ・相談支援（電話等）の実施 ・親子で学ぶむし歯予防事業の実施 ・歯科保健従事者への研修の実施 ・障害者への歯科診療の実施 ・福祉施設巡回による歯科相談・指導等 ・歯と口の健康週間の啓発事業の実施 ◎レントゲン設備の更新	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○
歯科保健進捗協力交付金 (7,200千円)	歯科保健対策事業に対する交付金	・栃木県歯科医師会への交付金				○
在宅歯科医療推進事業 (3,056千円)	在宅歯科医療推進事業に対する助成	・在宅歯科医療連携室の運営費の助成 ・在宅歯科医療従事者への研修の実施 ・歯科衛生士の再就職支援講座の実施			○ ○	○ ○ ○

※事業名欄の（ ）内は予算額、◎は新規事業

VI 資料：県内市町におけるライフステージごとの取組（平成28年度）

市町名	事業*1	妊産婦	乳児	1歳6か月児	2歳児	3歳児	幼児	物応用化	生徒児童	成人	歯周疾患検診	高齢者	ステータス全ライフ*2	計画*3
宇都宮市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿沼市		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日光市			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
真岡市			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
益子町		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
茂木町			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
市貝町			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
芳賀町				○	○	○	○	○	○		○			○
栃木市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小山市			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
下野市		○		○	○	○	○	○	○		○	○		○
上三川町		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
壬生町				○	○	○	○	○	○		○		○	○
野木町				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
大田原市			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
矢板市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須塩原市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さくら市			○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
那須烏山市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩谷町			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
高根沢町		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
那須町			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那珂川町			○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
足利市			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐野市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計		11	20	25	24	25	25	25	21	18	25	23	19	25

*1 事業の区分は各市町からの報告に基づき掲載

*2 全ての住民を対象とした「健康まつり」等の行事

*3 健康増進計画内に歯科保健に関する計画が位置付けられているもの

Ⅶ 資料：県内市町における歯科保健条例制定及び計画策定状況について

市町名		条 例				計 画	
		検討中	制定済	公布日 施行日	条例名	健康増進 計画に歯 科記載有	歯科単独 計画
	宇都宮市	○			H29年度に制定予定	○	○
県 西	鹿沼市		○	H25.3.21 H25.4.1	鹿沼市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	日光市		○	H23.7.1 H25.11改定	日光市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
県 東	真岡市					○	
	益子町		○	H27.4.1	益子町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	茂木町		○	H27.4.1	茂木町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	市貝町		○	H27.3.10 H27.4.1	市貝町民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	芳賀町		○	H28.3.8	芳賀町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
県 南	栃木市		○	H26.3.20 H26.4.1	栃木市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	小山市		○	H25.3.22 H25.4.1	小山市歯と口腔の健康づくり推進条例	○	○
	下野市		○	H26.3.20 H26.4.1	下野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
	上三川町					○	
	壬生町		○	H26.3.12 H26.4.1	壬生町歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	H29年度作成予定
	野木町	○			H29年度に制定予定	○	
県 北	大田原市					○	
	矢板市					○	
	那須塩原市					○	
	さくら市					○	
	那須烏山市		○	H25.3.19 H25.4.1	那須烏山市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	
	塩谷町					○	
	高根沢町					○	
	那須町					○	
安 足	足利市		○	H25.12.25 H26.4.1	足利市民の歯及び口腔の健康づくりに関する条例	○	
	佐野市		○	H25.3.18 H25.4.1	佐野市歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
		2	13			25	6
県	栃木県		○	H22.12.21 H23.4.1	栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例	○	○
国	厚生労働省		○	H23.8.10	歯科口腔保健の推進に関する法律	○	○

■ 歯科保健条例を策定している道府県・・・43道府県（平成29年4月現在）